

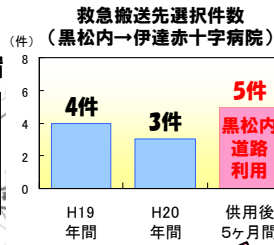
地域の生活・産業を支える黒松内道路

- ・黒松内町～伊達・洞爺方面への移動時間が短縮、医療や日常生活の利便性が向上。
- ・黒松内道路開通により、地域住民の交流が活性化。
- ・割引キャンペーンによる来訪客の増加、新たな観光ルート形成等、観光等産業の振興に貢献。



●移動時間の短縮

◇伊達・洞爺方面への移動時間が短縮



時間短縮により伊達赤十字病院の搬送が拡大

黒松内道路の供用により、伊達方面への搬送で約15分程度時間短縮し、患者や運転手の負担が軽減しました。以前の経路に比べ路面状況も良く、安全に移動が可能となりました。

資料：H21岩内寿都消防組合黒松内支署ヒアリング調査結果

◇住民にとっても開通メリットが高い

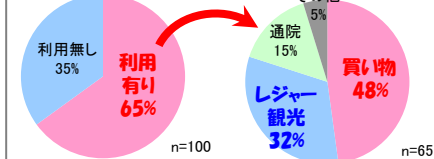
「実際に伊達・洞爺まで利用して感じた15～20分程度の時間短縮は住民にとっても様々な場面で非常にメリットが大きい」と谷口前黒松内町長。



資料：シンポジウムでの谷口前黒松内町長のコメント (H22年3月6日)

◇買い物、レジャーなどの利用が高い

<黒松内道路利用有無> <利用有・目的別割合>



資料：H21沿線住民アンケート調査結果 (H21年12月中旬～下旬)

●地域住民の交流支援

◇様々なイベント開催を紹介する広報記事

・黒松内町では、黒松内道路の供用に向けて、「見学会」「植樹会」「スポーツフェスティバル」等の様々なイベントが開催され、黒松内道路が地域住民の「交流の場」となりました。

「黒松内新道」開通に、町民はこんなに喜んでます。

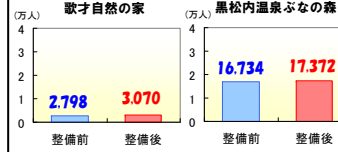


資料：H21黒松内町ヒアリング調査結果

●産業の振興支援

◇周辺施設の来客数が増加

開通後、お客様が増えました。遠方からのお客様も増えています。(町内の和菓子屋店主の声)



資料：H21黒松内町ヒアリング調査結果

●観光振興への貢献

◇新たな周遊ルート形成が期待

・後志の貸切観光バスで人気のコースは、札幌などの道央圏と函館などの道南圏を結びツアー、「積丹半島関連」、「札幌→小樽→ニセコツアー」等。

・黒松内道路は、今後、「札幌→小樽→ニセコ→黒松内」、「函館→ニセコ」等の観光ルートとして利用が見込まれます。



資料：H21観光バス事業者ヒアリング調査結果